

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 鹿児島県, 山口県, 岩手県, 静岡県	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	「明治日本の産業革命遺産」インタープリテーションアプリ開発		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「明治日本の産業革命遺産」については、構成資産が広域にわたることから、本遺産のシリアルとしての価値やその歴史的背景等について、統一的に情報発信するため、現在、関係自治体が連携してスマートフォン・アプリを開発し、平成28年度に運用を開始した。</p> <p>平成29年度は、本遺産を中心に周辺の文化財なども合わせ、地域の観光資源として一体的に活用を促進していくため、同アプリを活用して、AR技術等を用いたコンテンツ（搭載機能）を拡充するとともに、地域イベントなどの情報発信機能を強化することにより、交流人口の拡大と観光振興を図り、地域全体の活性化につなげていく。</p> <p>○実施事業 「明治日本の産業革命遺産」インタープリテーションアプリ開発事業</p>			
6 実施体制			
<p>構成資産が所在する8県、一般社団法人九州観光推進機構及び一般財団法人産業遺産国民会議が連携しながら、本実施計画に基づき事業を推進する。</p> <p>①関係者の主な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成資産が所在する8県：事業の実施に係る助言、関係者との連絡調整等</li> <li>・一般社団法人九州観光推進機構：事業の実施に係る助言、関係者との連絡調整等</li> <li>・一般財団法人産業遺産国民会議：補助事業に係る企画・実施及び関係者との連絡調整等</li> </ul> <p>②事業主体</p> <p>「明治日本の産業革命遺産」インタープリテーションアプリ開発実行委員会(29年3月に設立)</p> <p>構成団体：一般財団法人産業遺産国民会議（実行委員会事務局）、一般社団法人九州観光推進機構（鹿児島県、福岡県、佐賀県、長崎県及び熊本県を含む）、岩手県、静岡県及び山口県</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 千円	平成29年度申請額： 16,343 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>①8県11市にわたる23の構成資産の持つシリアルとしての価値や各資産のつながり、歴史的背景について総合的な理解の促進が図られる。</p> <p>②本遺産を中心に周辺の文化財や世界遺産なども合わせて周遊を促進し、地域の観光資源として一体的に活用していくことにより、交流人口の拡大及び観光振興による地域活性化が図られる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	鹿児島県PR・観光戦略部観光課		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	その他（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 1 :	アプリのダウンロード数			関連事業:	①	
目標値 1 :	平成 28 年度 0 （単位） ⇒ 平成 30 年度 60,000 （単位）					
設定根拠 1 :	アプリ開発とともに作成する世界遺産ルートマップ等の各種媒体の活用により、訪問者に対し当該アプリの利用促進を図る。 ○30年度：平成30年度構成資産来訪者数（推定値）の 1 % 程度（6 万件）					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	

## 8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	「明治日本の産業革命遺産」インタープリテーションアプリ開発事業			実施団体：	「明治日本産業革命遺産」インタープリテーションアプリ開発実行委員会	
事業区分：	情報発信			事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度	
事業概要：	「明治日本の産業革命遺産」を中心に周辺の文化財なども合わせ観光資源として一体的に活用を促進していくため、①AR（拡張現実）技術等を用いた新たな資産関連コンテンツ（搭載機能）を拡充するとともに、②関係イベントなどの情報発信機能の強化を図り、世界遺産、文化財、周辺地域の観光資源と連動させる仕組みを構築するとともに、来訪者が楽しく、学びながら周遊できる機会を創出する。					
評価指標区分：	・アプリ等のダウンロード数				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	アプリのダウンロード数(平成30年度の構成資産来訪者数（推定値）の1%程度					
目標値：	平成 28 年度		0 (単位)		⇒ 平成 29 年度 60,000 (単位)	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	